

長野県木曾青峰高等学校 令和4年度第2回学校評議員会 記録

日時 令和5年2月22日(水) 午後3時00分から午後4時30分

場所 木曾青峰高等学校会議室

出席者 学校評議員 同窓副会長・同窓副会長・PTA会長・定時制教育振興会長・
信州木曾看護専門学校副学校長(代理)・
学校職員 校長・全日制教頭・定時制教頭・定時制教務主任・
進路指導主事・生徒指導主事・1学年主任・2学年主任・3学年主任・
理数科主任・森林環境科主任・インテリア科主任

1 開会

2 学校長挨拶

3 学校からの報告

4 学校評議員からの質問・意見・要望等

(評議員) 細かい指導までしていただいている印象である。空き家対策も含め、いつか木曾に戻ってきていただけるようにお話しいただければと思います。

(評議員) 同窓生には専門知識を持っている方が多数いる。生徒への講話などで刺激を与えるなどのことができるよう紹介や費用の補助などの形で協力したい。

■南信工科短大の学長や、千葉大の助教などに卒業生がいることを認識している。講話の実施等の際にはご協力をお願いしたい。

(評議員) 木祖村の生徒が少ないと聞いている。郡内の生徒により目を向けてもらえるようになるとうい。

■中学3年生のみならず、小学生などに対しても本校のアピールが必要であると考えている。木祖村が試金石だと考えている。

(評議員) 看護学校開設の目的である木曾郡の生徒の入学に対して郡内のお子さんの減少影響が出てきている。森林の自然観察会では、とてもお世話になり来年度もお願いしたい。木曾を知るという意味でもとても価値がある活動である。資格取得も頑張っている姿が見られた。

(評議員) 定時制の生活体験発表会を初めて見た。とても良い発表であった。

高校再編については、2校存続が決まっているものの定員が割れによって保護者が不安になっている。クラス数の体制をいつまで続けるかが分かることが不安の解消につながると思われる。

寮の問題も学校の近くにこだわらず設置していくことや自治体に協力をしてもらおうということも考えられる。

木祖は塩尻に近く、就職などがうまくいっているというという情報もあるため、郡外への生徒流出の理由の一つになっていると思われる。

(評議員) 定時制のアルバイトについてお聞きしたい。(コロナ下でのアルバイトの取扱いに関連して)

■定時制教務主任 学校の方では特に制限していない。

5 その他

6 閉会